

檜原村観光協会だより



2011年9月号

No40

発行 一般社団法人 檜原村観光協会 責任者 鈴木 留次郎 発行日 平成23年9月13日

協会の動き

平成23年

- 8月20日(土) 払沢の滝ふるさと夏まつり開催
8月21日(日) // 来場者数2日間:約6,100人
9月3日(水) 自衛消防訓練 於:交流センター駐車場
9月8日(木) 協会理事会 於:交流センター
議題 (1)会費の集金について
(2)大多摩秋まつりイベントについて
(3)第1回東京ヒルクライム~HINOHARA ステージについて
(4)その他

会員だより

- ◎ **そば処みちこ** 代表:濱田 美知子 創業:平成11年4月
営業日:4月~11月の土曜・日曜・祝日 (5月、8月は木曜以外営業)
営業時間:11:00~15:30 TEL:090-7415-3854 住所:檜原村4063



情緒溢れる水車小屋

”そば処みちこ”をご紹介します。お話を伺ったのは濱田美知子さんです。お店を始めた経緯は、給食センター、老人ホーム、お蕎麦屋さん等で働いた経験、又、叔父の”峠の茶屋・高峰荘”を手伝っていたこともあり、その叔父のアドバイスで開業したそうです。ご苦労されていることは、自然水を使用しているため、保健所の検査があり、現在でも継続して水の保全には気を使われているとのこと。お店は築400年の古民家に水車が回っていて、特に5月中旬から6月初めは、水車の周りにクリンソウの群生が満開となり、リピータさんが多いのも頷けます。(美知子さんご主人のお人柄も...)お店には来客ノートがあり、お客様の”また来るよ”とのメッセージを見た時は、本当に嬉しいとのことでした。



濱田さんご夫妻

春・夏・秋、と来店する人、2週間に1回来る人、他にもリピータさんの、誌面では紹介出来ない心温まるエピソード等、ビックリするやら、感心するやら、とてもユニークな内容でした。美知子さんは神戸(カト)生まれの小沢育ちで、現在は日の出町在住です。今は、昨年退職されたご主人とお二人でお店を経営されています。会員皆様へのメッセージは、会員としてのお手伝い等が出来ない事をとても恐縮されていました。

- ◎ **合資会社 西川屋** 代表:小林 智純 創業:昭和10年 住所:檜原村2035-3
休業日:不定休 営業時間:7:00~19:00 TEL:598-6070



小林隆則さん

”西川屋”の小林隆則さんをご紹介します。お店の営業上の特徴は、電話注文及び、来店購入に関しても高齢者の方が多いこともあり、配達対応をしているとのこと。品揃えに関しては、消費期限・賞味期限の関係上限定していて、昔ほど豊富に出来ないこともあり、注文販売に力を入れているそうです。お客さんに関しては、バス停が近いのでハイキングの方も見えるとのこと。小林さんの趣味は、パソコン、アマチュア無線、釣り(富士五湖方面)と豊富で、何れも20年前後の経験をお持ちだそうです。

特にパソコンに関しては、アマチュア無線仲間のホームページを作られたり、お店の売上管理をExcelでされたり、かなりのスキルをお持ちとお見受けしました。会員皆様へのメッセージとして、同業の連絡を密にし、又、ツイッター等の交流サイトを使い、情報発信をして行きたいとお話でした。因みに小林さんのアカウントは@nishikawayaです。



檜原特産焼酎

- ◎ **たちばな家** 代表:高木 省次 創業:昭和21年 住所:檜原村5574
休業日:毎週火曜日 営業時間:11:00~19:00 TEL:598-0029
お食事処”たちばな家”をご紹介します。お話を伺ったのは高木卓哉さんです。お店の始まりは祖父の卓治さんが終戦復員後に、たちばな家として中華そばを始められたことだそうです。メニューで努力されていることは、ランチセットのボリュームと価格(1,000円以下)とのことで、他に、ざる中華に関しては祖父が考案し、



玄関

ざる蕎麦、ざるうどんをイメージして、冬でも食べらる冷やし中華とのコンセプトで開発。お薦めメニューは川魚料理で、父親の省次さんが釣られた天然ものは特にお薦めとのこと。お話を伺った高木卓哉さんは大学卒業後、八王子のホテルの和食処、その後、国分寺のラーメン店で修行し、2年前に檜原に戻られたそうで、現在は檜原村消防団に属し頑張っているとのことのお話でした。



高木卓哉さん



玄関

お店の特徴は、お店の割りにカンパンが大きくて、都内の小学生が来たときに話題になり、教科書に掲載されたとのことでした。今年より、バーベキュー施設を作られて今後はさらに充実を予定されているそうです。

小林さんは保険会社に20年以上勤務され、その間は母と奥さんで店の営業をされていたそうです。夏祭りにおいて今では恒例となっている打ち上げ花火ですが、最初の企画提案をされたそうで、花火業者との交渉、村民の皆様への寄付金お願い等、大変頑張られて実現されたとのこと、13年後の今年も檜原の夜空を彩りました。会員皆様へのメッセージは、土地に惚れ、仕事に惚れ、健康に留意してくださいとのことのお話でした。



小林正明さん

◎ **こむかい山荘** 代表：平野 稔子 創業：昭和59年5月
休業日：不定休 営業時間：チェックイン 15:00 チェックアウト 10:00
TEL：598-6104 住所：檜原村 1088



宿泊施設前と庭

民宿”こむかい山荘”をご紹介します。お話を伺ったのは平野稔子さんです。事業を始められたキッカケは、周遊道路が開通したことを機に、養蚕業で使用していた現施設を利用して始めたそうです。最初はひじろ(囲炉裏)を使用していたが、お客さんが湯呑に灰が入り中身を捨てているのを見て、ひじろの使用を止めたとのエピソードをお聞きました。せっかくの田舎風情がもったいないような……。お客さんに出す料理は、山・畑で取れた食材を多く使用した田舎料理、コンニャクは手作り、特に川魚に関しては鮎しか使わない



平野稔子さん

拘りをお聞きました。今後に関して、愛犬同伴の施設利用も考慮しているそうで、その為の施設の構築も予定しているそうです。現在、あきる野・檜原の八つのJAで活動している厚生連の料理教室(年4回)において、檜原産のじゃがいも、コンニャクと、その他で、5食材を使用した檜原丼(仮称)の開発を考えているそうで、完成が待たれます。

◎ **仲良屋商店** 代表：小林 正明 創業：昭和36年3月 住所：檜原村 3215
休業日：毎週月曜日 営業時間：9:00~18:00 TEL：598-0467
”仲良屋商店”の小林正明さんをご紹介します。店名の由来は昔の屋号(中屋)から付けたとのこと、経営上努力していることは、最近村の商店が減少していることもあり、お客さんの利便性を考え、引き売りも行っているそうです。

◎ **横川グループ車茶屋** 代表：山口 昌子 創業：平成5年8月
休業日：不定休 営業時間：10:00~17:00 TEL：598-1066 住所：檜原村 5236

特産物直売所”車茶屋”をご紹介します。お話を伺ったのは山口勇さんです。横川グループの横川と言うのは屋号で、約260年前の小岩にある草葺屋根の古民家にあった石塔に、横川屋と彫られていたことが由来だそうです。”車”が付いているのは祖父の代より、馬力引き、横川運輸、横川交通、西郡観光等、車に関する事業を生業としてきたことのお話でした。お店の特徴は生鮮野菜の他に、コンニャク、じゃがいも、トウモロコシ等の調理販売を



人気のコンニャク販売



山口勇さん

しており、特にコンニャクに関して一度食べたお客さんは、次回も必ず寄ってくださるとのこと、私もいただきましたが、味がよく滲みすぎて大変美味でした。奥さんの昌子さんが調理されるそうで、多くの食材から出汁をとることが決めてとか。山口さんは観光バス会社を経営され(現在は息子さんが社長)、お話を伺ったなかで印象深かったことは、観光バスの購入において他社よりかなり高額な投資をし運用することで、お客さんの評判によりバスの稼働率が上がり好循環となることのお話でした。お店の品揃えに関しても、檜原産に拘らずよい品を仕入れる方針は、その経営哲学から来ているのではないのでしょうか。

【お知らせ】◎会員だよりのバック・ナンバー(4月以降の発行分)を観光協会ホームページにて公開することになりました。ついては、個人名が掲載されていますので、不都合のある方は事務局まで連絡をお願い致します。(イニシャル等に修正対応します)

◎観光協会では今年度事業として、村の少子化対策『素敵な出会い』を檜原村より受託しました。参加者募集パンフレットを配布しますので、会員皆様のご協力をお願い致します。

観光協会事務局